施工説明書

Dea's Garden ディーズガーデン

コンクレアE

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく施工をしていただくために、施工説明書をよくお読みください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

⚠ 注 意

◆ 製品の施工には危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
◆ 施工が不十分だと使用中に転倒する恐れがあります。この施工説明書に従い確実に固定してください。
◆ 強風時など、周囲の安全が確保できない場合は、危険ですので施工しないでください。
◆ 施工の際は手袋を着用してください。

⚠ お願い

◆ 開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
◆ 製品に異常がないことをご確認ください。
◆ コンクリートの養生は十分に行ってください。
◆ 製品表面に付着したコンクリートや接着剤は速やかに除去してください。
また、施工中についた汚れは速やかにふき取ってください。
◆ 製品はフィルムが巻かれた状態で梱包されています。汚れ防止のため、埋め込みの際はフィルムを剥がさずに施工し、コンクリートが硬化してから壁を傷つけないように丁寧に剥がしてください。

使用工具

基礎工事・本体施工時に使用するもの

◆ コンクリート/モルタル、打設用品　◆ 添え木、当て布　◆ 抜け止め用鉄筋など
◆ 基礎ブロック　◆ PF管（配線時）　◆ φ6程度のドリルキリ（水抜き穴加工用）
◆ 接着剤：コンクリートボンド等の硬めの接着剤（支柱差し込み用）

アイテム取付や配線穴あけ時に使用するもの

◆ 電動ドライバー　◆ プラスドライバー　◆ φ20程度のホールソー(配線穴加工用)　◆ 結線用工具
◆ 取付アイテム指定の穴径に対応するドリルキリ (詳細は各アイテムの取付説明書をご確認ください)
◆ 接着剤：2液性エポキシ接着剤　5〜30分硬化型（アイテム取付に使用）　◆ コーキング剤
※透明又は壁と同系色の接着剤をご使用ください。　◆ φ5〜φ6 バックアップ材

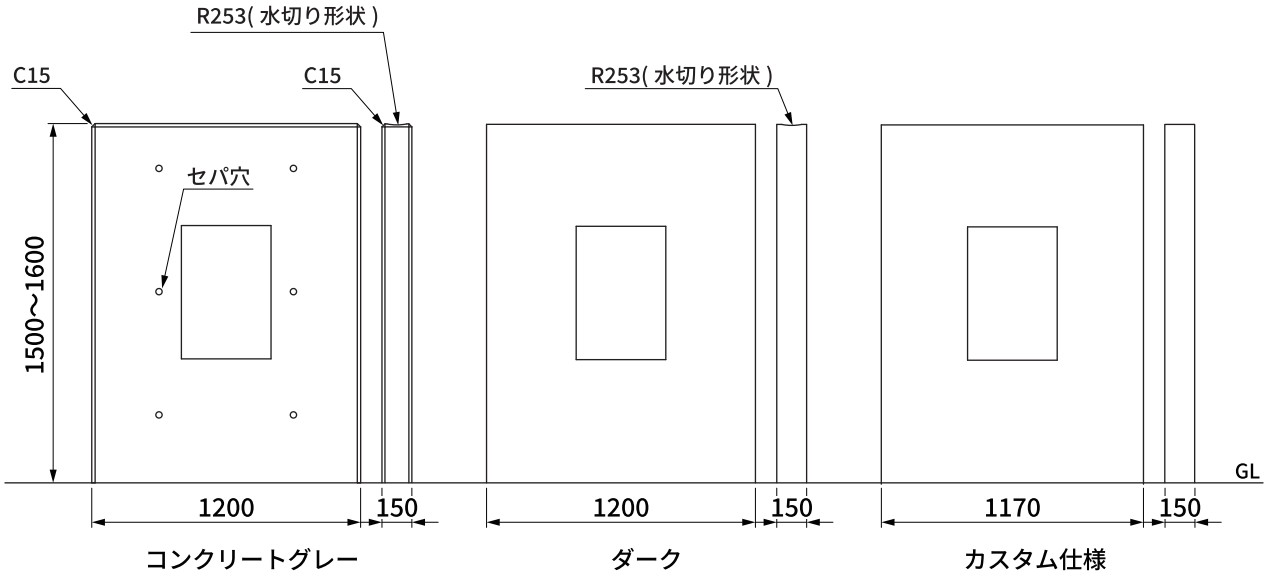
⚠ **・瞬間接着剤、アセトン・シンナーを含む接着剤等は内部の発泡樹脂を溶かすおそれがあります。必ず、発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。**

・本製品は EPS (発泡樹脂) で作られています。一点に強い力が加わると凹んだり割れたりするおそれがありますので、 施工時のお取り扱いには十分にご注意ください。

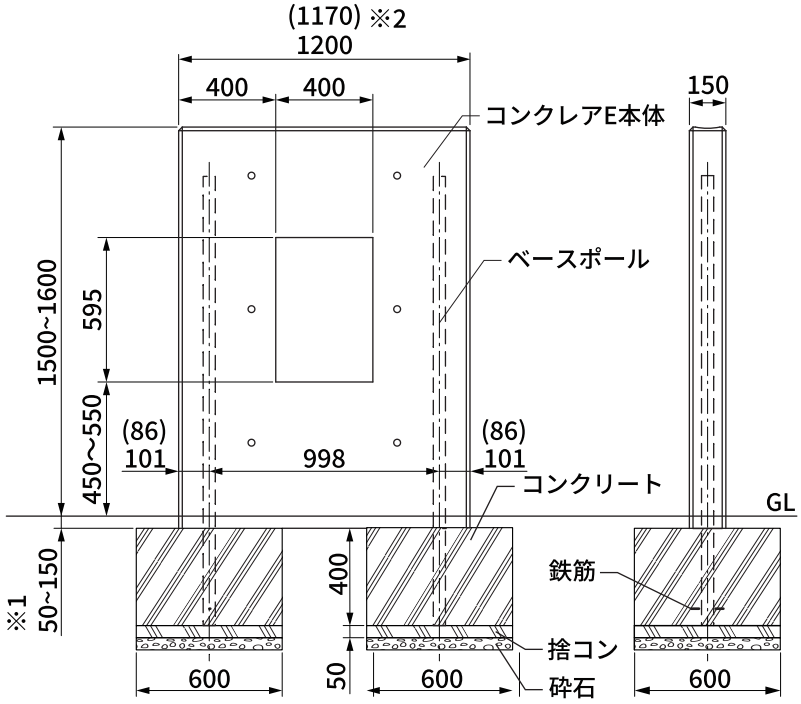
カラーによる本体形状の違い（寸法単位：mm）

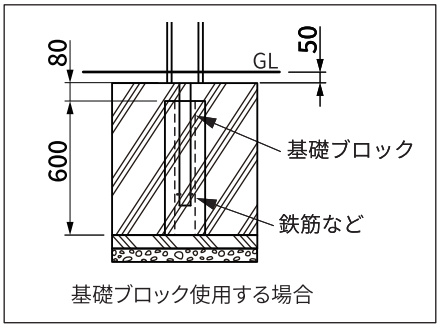
カラーによって本体の形状が異なりますのでご注意ください。

なお、P.3 以降の施工図は「コンクリートグレー」の形状で記載しています。



梱包明細・施工寸法図（寸法単位：mm）





基礎ブロック使用する場合

コンクレア E

名称	数量
コンクレアE本体	1
保証書	1
施工説明書	1
取扱説明書	1

ベースポールセット E

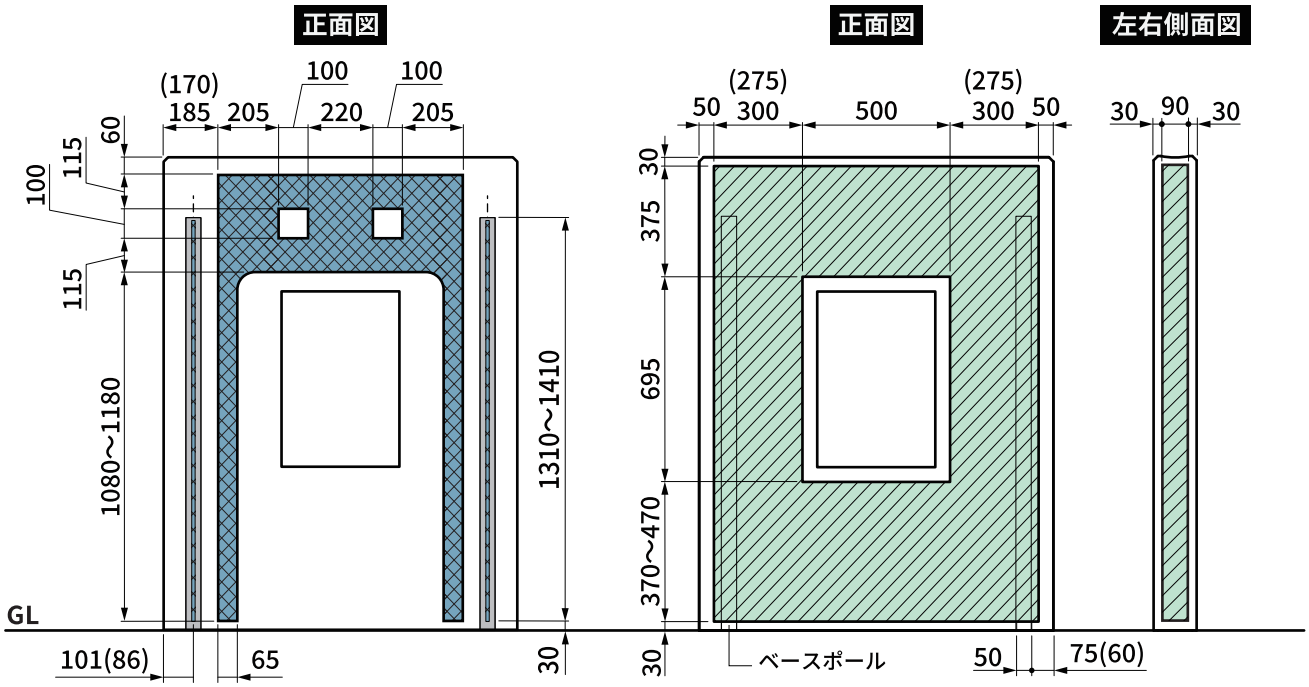
名称	数量
ベースポール	2

※1　埋め込み深さを50mm～150mmの範囲で調整し、GL上の高さを変更することができます。

※2　( )内はカスタム仕様の寸法です。( )にて寸法記載のない箇所は全カラー共通の寸法となります。

オプションの取付

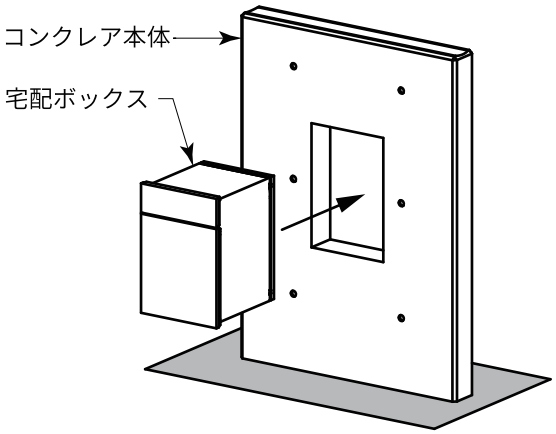
配線穴が開けられる範囲 (単位 mm)　　アイテムの取付範囲 (単位 mm)



※ ( ) 内はカスタム仕様の寸法です。 ( ) にて寸法記載のない箇所は全カラー共通の寸法となります。

※ ベースポールに配線される際は、必ずベースポール中心付近に配線穴を開けてください。

※ コンクレア側面には配線穴は開けられません。



コンクレア本体の施工とコンクリートの硬化が完了した後に、宅配ボックスを取り付けてください。
確実な施工のため、コンクレア本体と宅配ボックスの同時施工はお控えください。

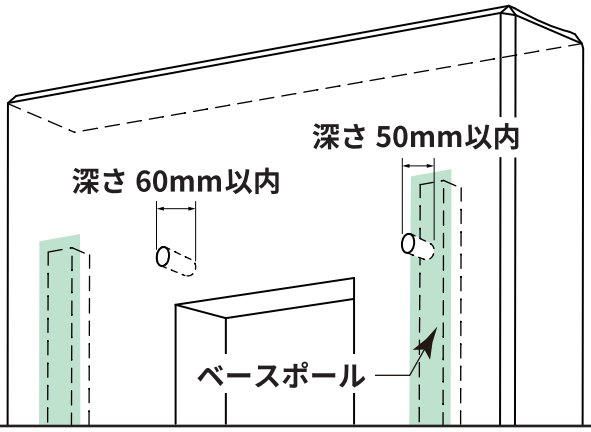
取付可能なアイテムと制限について

樹脂アンカーの取付

樹脂アンカーをベースポールの前に
取り付ける際に開ける下穴の深さ…50mm

※樹脂アンカー本体は 50mm に切断して
ご使用ください。

樹脂アンカーをその他の場所に
取り付ける際に開ける下穴の深さ…60mm

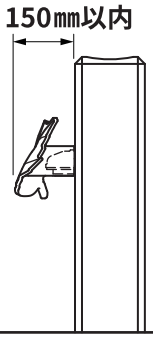


照明

カールプラグ取付セット A にて取付可能な照明

①照明器具の厚み：**150 ㎜以内**
②重量制限：**1 kg以内**
③取付用のねじの長さ：**45 ㎜以内**

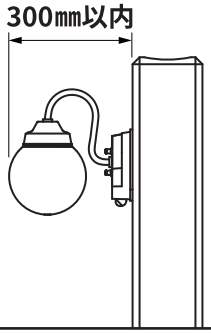
取付詳細については P.14 を
ご確認ください。



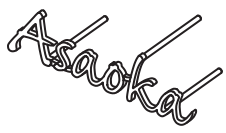
樹脂アンカーセット A にて取付可能な照明

①照明器具の厚み：**300 ㎜以内**
②重量制限：**2 kg以内**
③取付用のねじの長さ：**45 ㎜以内**

取付詳細については P.15 を
ご確認ください。

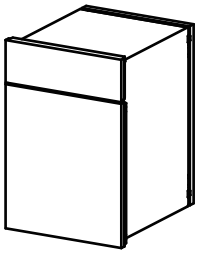


表札



・配線穴に干渉してしまうため、下穴の深さは45㎜までです。
・表札の足が長い場合は切断してください。
・表札を取付ける際にはパイプセットA（別売）が必要となります。

宅配ボックス



・400×595mmの開口部に対応する
埋込型宅配ボックスのみ施工可能です。

・荷物が入った状態での宅配ボックスの
許容耐荷重は、最大20kgです。

取付アイテム詳細

その他取付可能なアイテムや、
取付に必要な別売部品に
ついてはWebをご参照ください。

コンクレア
取付可能アイテム一覧表
QRコード

ベースポールの取付

■施工手順（単位：mm）　全機種共通

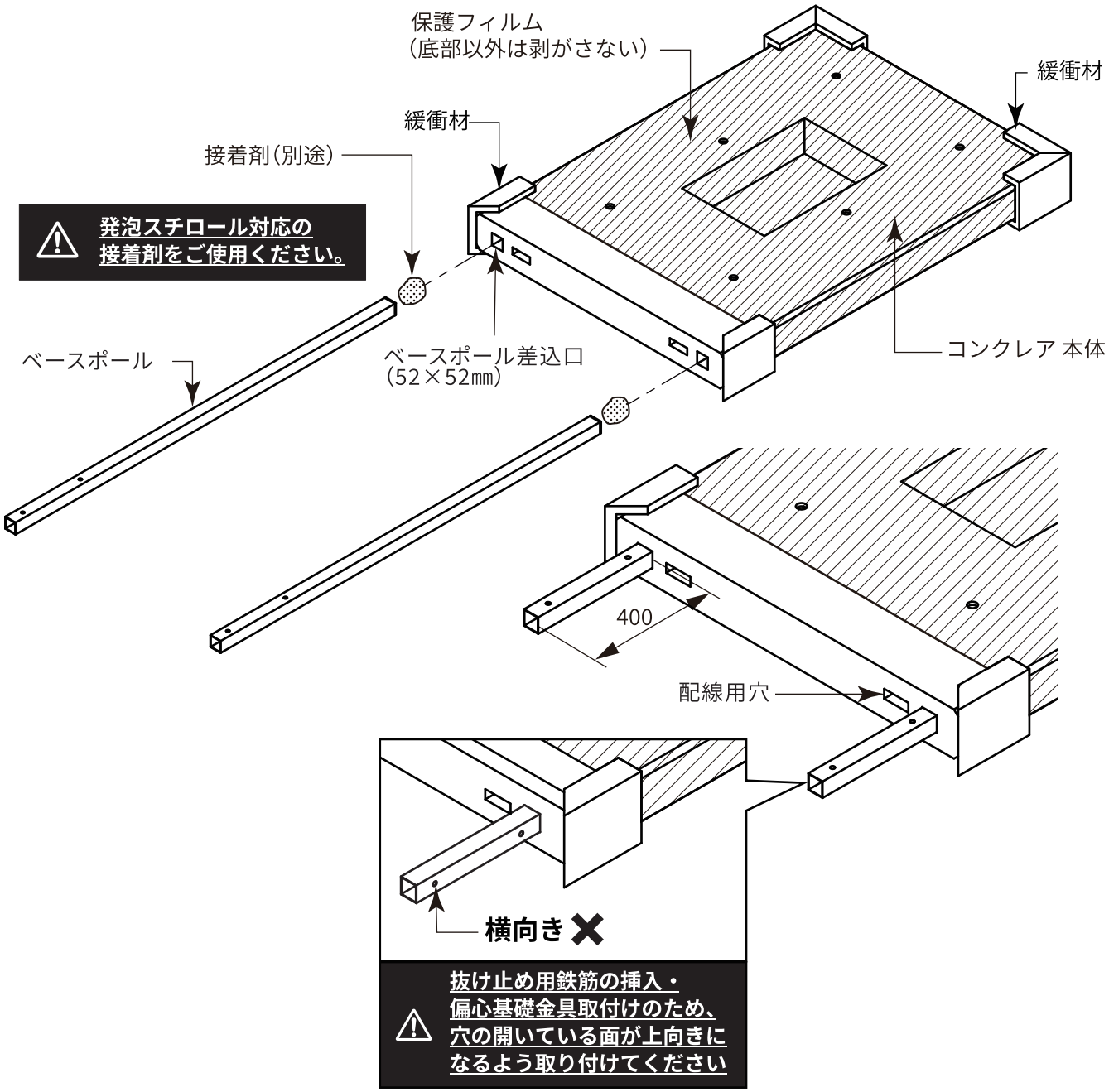
1 製品底面より、ベースポールを挿入します。
本体に巻かれた保護フィルムと緩衝材は底部のみを剥がします。
ベースポールに接着剤を塗布し、底面より挿入します。

使用部材
コンクレア

名称	数量
コンクレア本体	1

ベースポール セットE

名称	数量
ベースポール	2

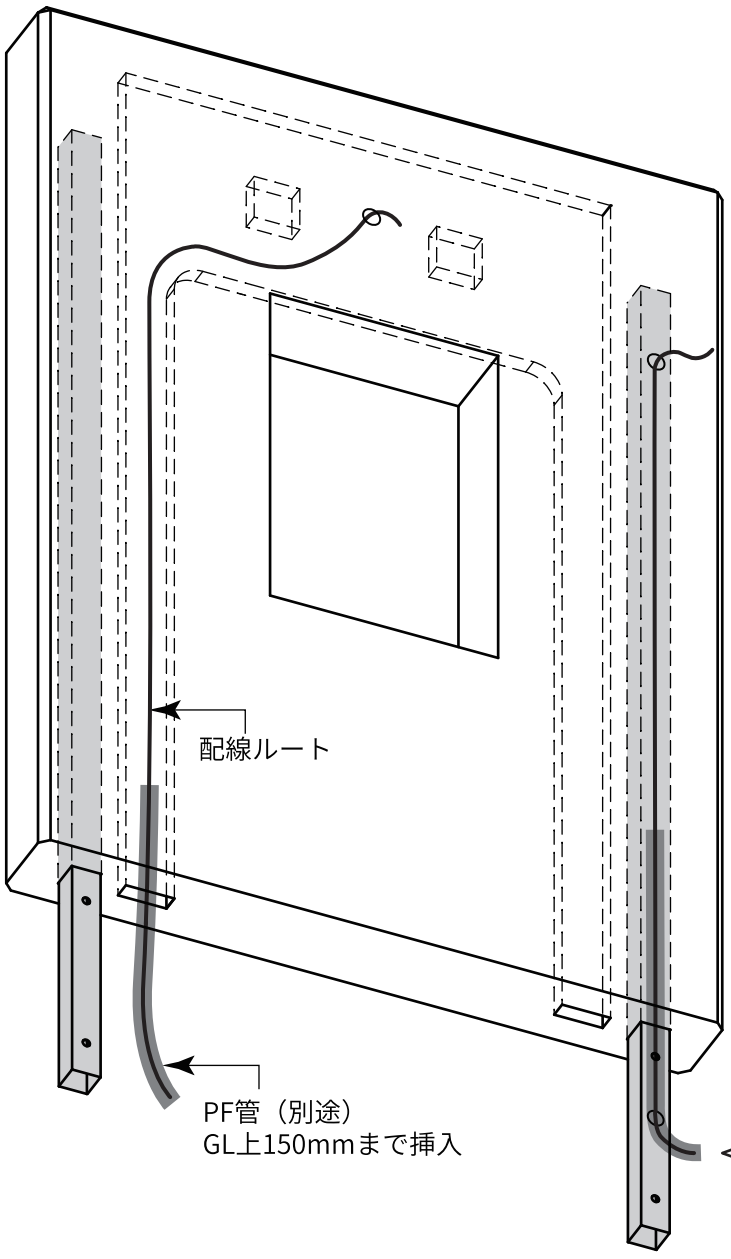


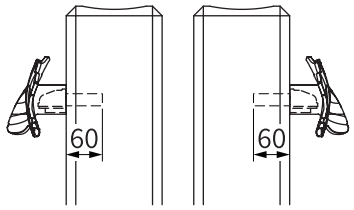
配線時の施工について

配線例

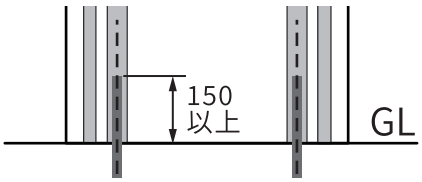
取付可能な範囲・条件については、P.3 ～ 4 をご覧ください。

※ 取付け方法に関しては照明P.14～15、インターホンP.17をご覧ください。



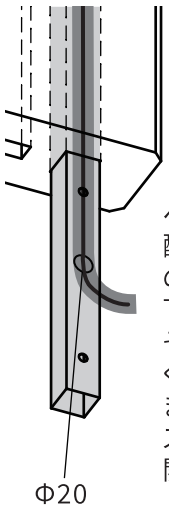


本体の両面どちらにでも照明とインターホンを取付けることができます。
配線穴の深さは60㎜開けてください。



PF 管は GL から 150mm より上まで挿入してください。

取付位置によっては、インターホンの配線と照明の配線が接触する可能性があります。その際は接触を防ぐため、PF 管を配線上部まで持ち上げてください。



ベースポール内部に配線する場合は、図のようにベースボール下部に配線穴を開け、そこから配線を通してください。
また、配線穴はベースポール中心付近に開けてください。

⚠ ※配線は必ず本体の施工前に行ってください。

※AC100Vの電気配線に関わる工事は必ず有資格者が行ってください。

本体の施工について

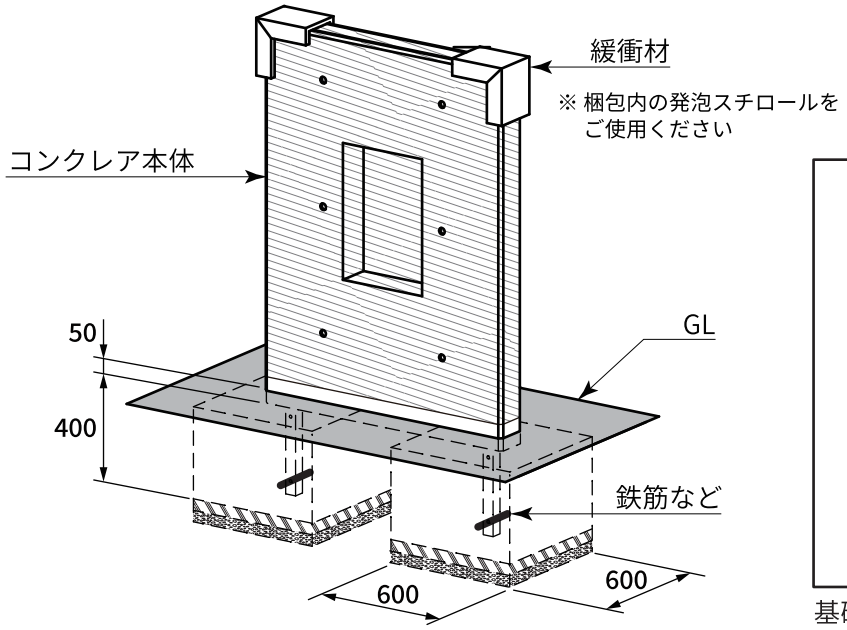
※施工前には必ず製品に異常がないかをご確認ください。(凹み、キズ、割れなど)

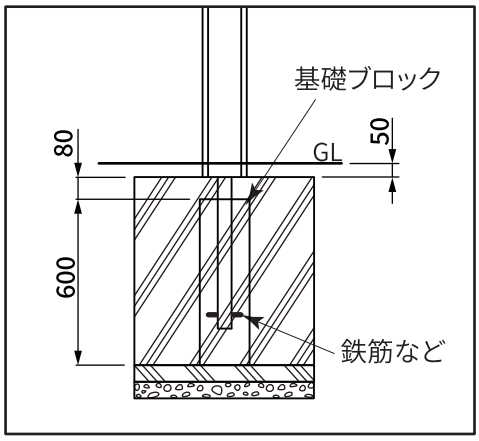
※製品保護のため、施工中はフィルムを剥がさないでください。

※コンクリートやモルタルに、塩分を含む砂のご使用はさけてください。
また、混和剤を用いる場合は、非塩素系または非アルカリ系のものをご使用ください。

※養生時間を十分に確保し、その間に振動や衝撃を与えないようにしてください。

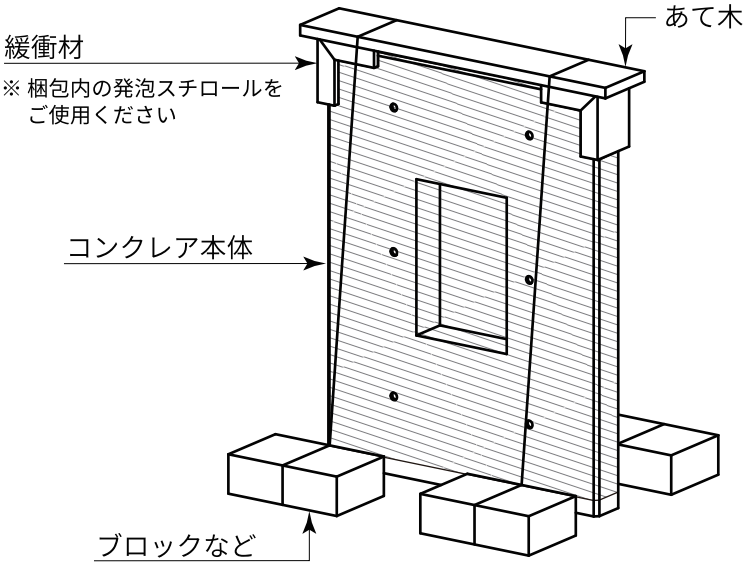
1 基礎寸法図の寸法以上の基礎穴を設け、コンクレア本体を建て込みます。
抜け止めの為にベースポールの下部の穴には鉄筋や寸切りボルトなどを挿してください。



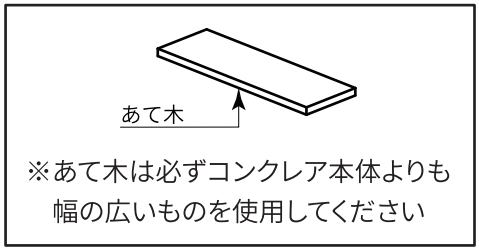


基礎ブロックを使う場合

2 コンクレア本体を建てる際に、下図を参考に仮固定をしてください。
その際、コンクレア本体に直接力が加わらないようにご注意ください。



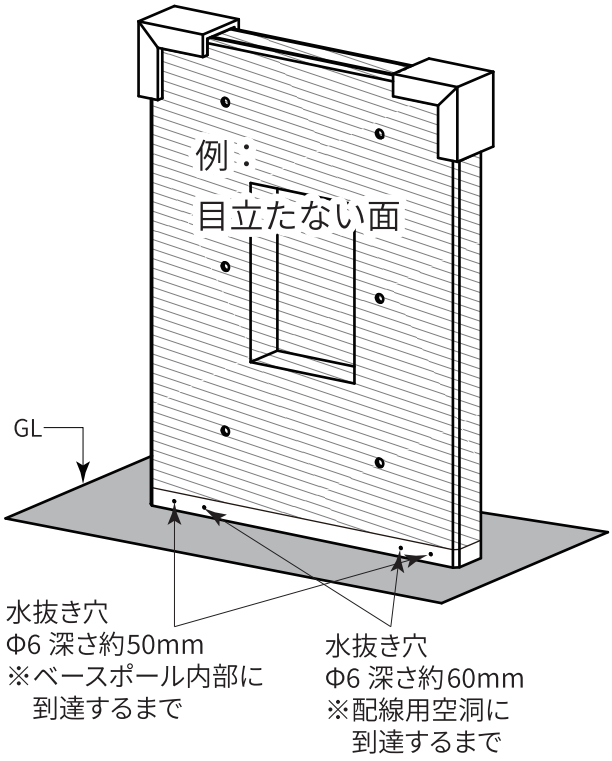
クランプ等の固定金具は使用不可

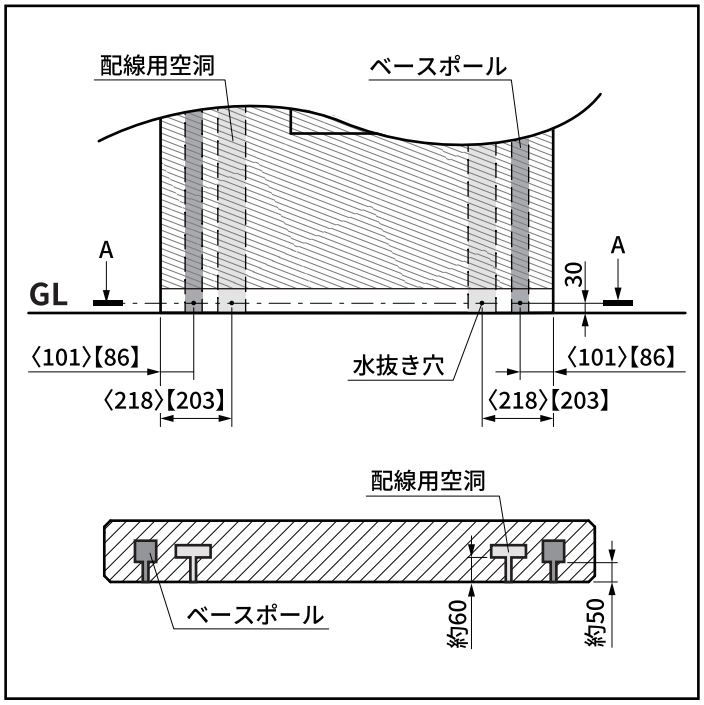


※あて木は必ずコンクレア本体よりも
幅の広いものを使用してください

本体の施工について

3 コンクレア本体の水平、垂直を確認し、コンクリートを打ちます。
コンクリートが完全に硬化した後、製品の目立たない面からベースポール内部又は配線用空洞に到達するまで、水抜き穴を計 4 箇所下図の位置にあけてください。





水抜き穴位置

※〈〉コンクレアE　コンクリートグレー・ダーク寸法
【】コンクレアE　カスタム仕様
括弧のない寸法は全機種共通となります。

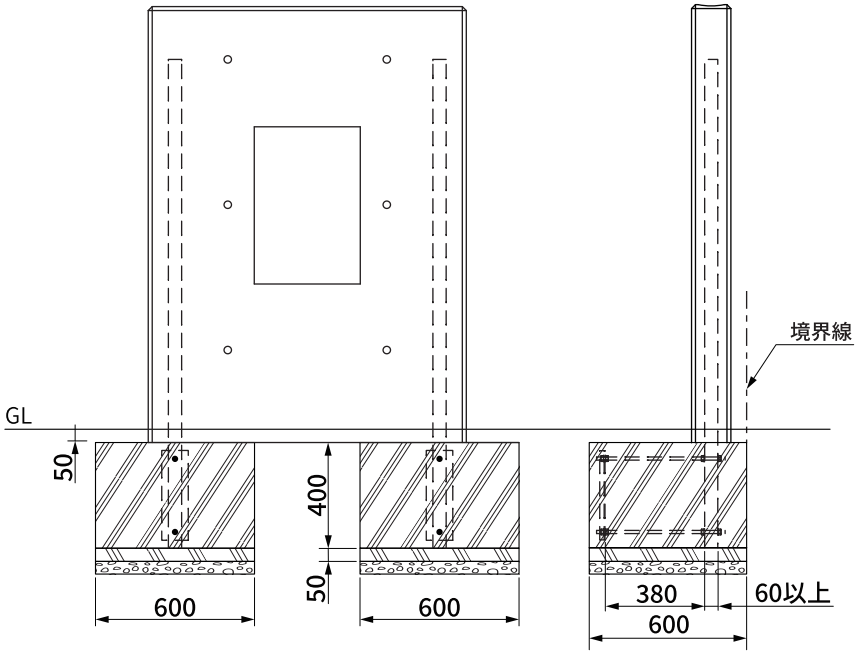
※ 水抜き穴は表裏どちらからでもあけられます。
施工後、水抜き穴はコンクリート・土などで
塞がらないようにしてください。

⚠ 水抜き穴はベースポール内部又は配線用空洞に到達するようにあけてください

4 水抜き穴をあけた後、緩衝材と本体の保護フィルムを丁寧に剥がしてください。

隣地境界への施工

敷地の隣地境界などに接近してコンクレア本体を施工する場合は、
偏心基礎金具セットを用いて、下図のように基礎の端に寄せて施工します。



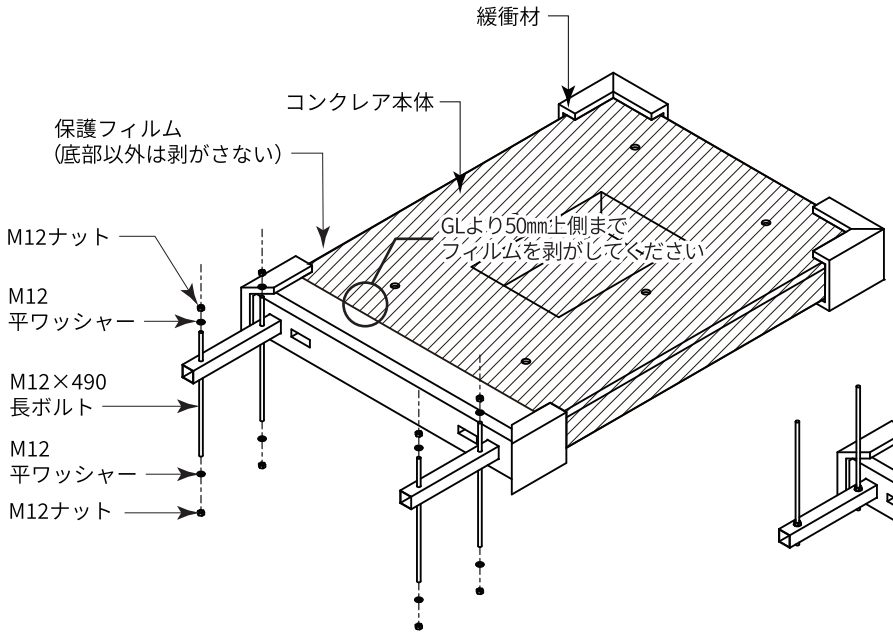
偏心基礎金具セットB　**2セット分**

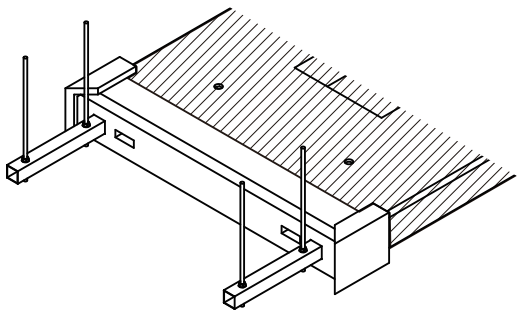
名称	数量
偏心基礎金具	2
M12×490　長ボルト	4
M12　ナット	16
M12　ワッシャー	16

※ 偏心基礎金具セットBは、
「コンクレア」1台につき**2セット**
必要になります。

1

底面よりベースポールを挿入し、ナットとワッシャーで
M12長ボルトを固定します。
ベースポールの取付詳細については P.8 をご覧ください。





使用部材
コンクレア

名称	数量
コンクレア本体	1

ベースポールセット E

名称	数量
ベースポール	2

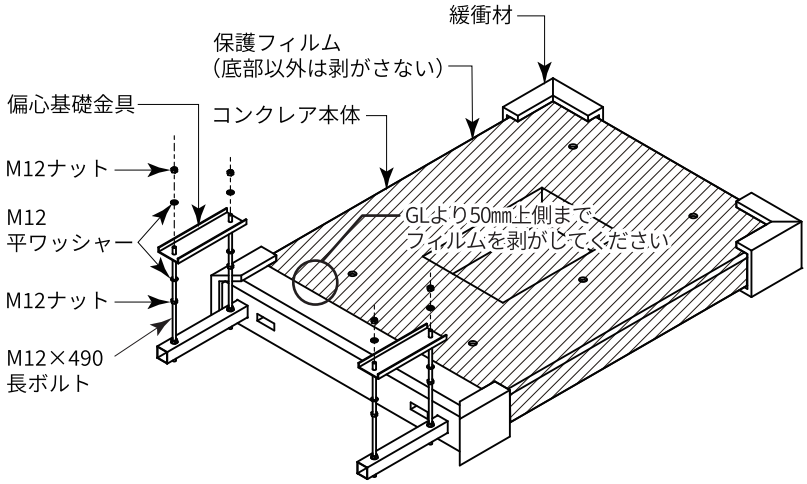
偏心基礎金具セットB　**2セット分**

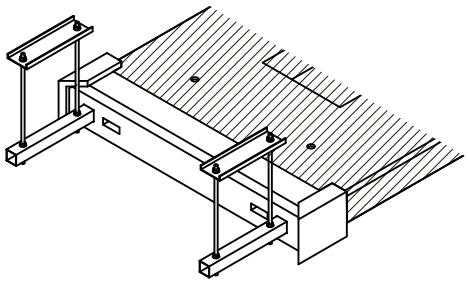
名称	数量
M12×490　長ボルト	4
M12　ナット	8
M12　ワッシャー	8

2 M12 長ボルトに対して、偏心基礎金具を両側からナットとワッシャーで固定します。

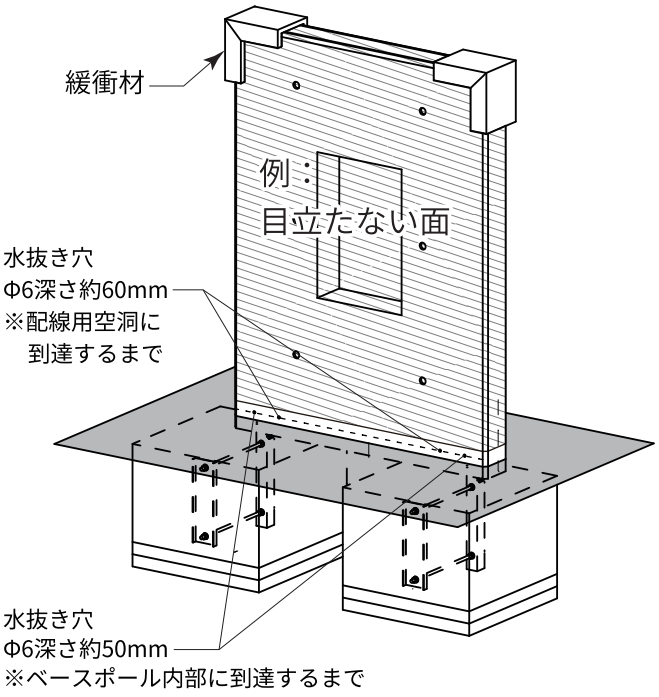
使用部材
偏心基礎金具セットB　**2セット分**

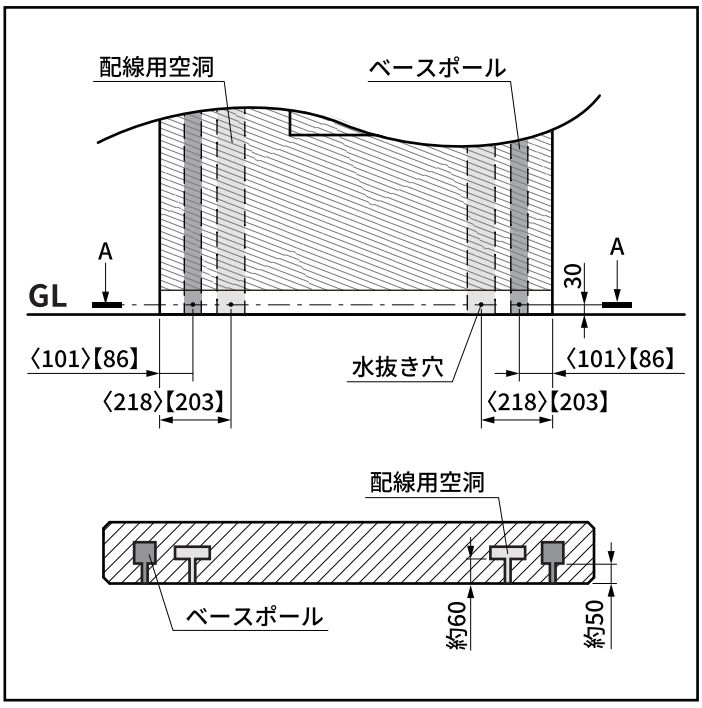
名称	数量
偏心基礎金具	2
M12　ナット	8
M12　ワッシャー	8





3 基礎寸法図以上の大きさの基礎穴を設け、コンクレア本体を建て込んでコンクリートを打ちます。コンクリートが完全に硬化した後、製品の目立たない面からベースポール内部又は配線用空洞に到達するまで、水抜き穴を下図の位置にあけてください。





水抜き穴位置

※〈〉コンクレアE　コンクリートグレー・ダーク寸法
【】コンクレアE　カスタム仕様
括弧のない寸法は全機種共通となります。

※ 水抜き穴は表裏どちらからでもあけられます。
施工後、水抜き穴はコンクリート・土などで
塞がらないようにしてください。

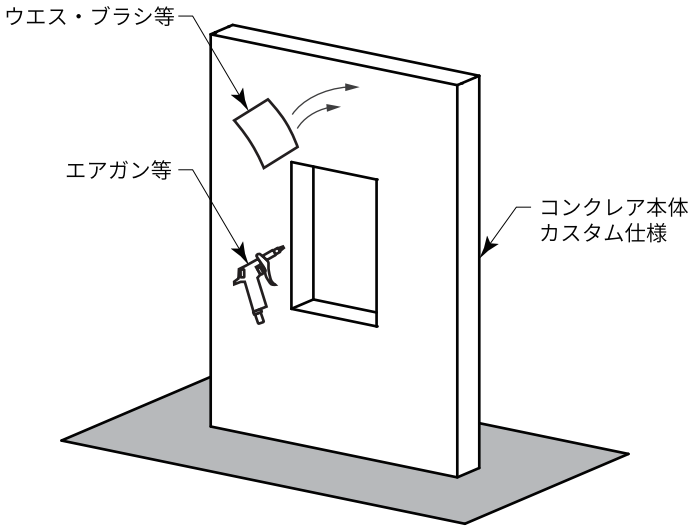
⚠ **水抜き穴はベースポール内部又は配線用空洞に到達するようにあけてください**

4 水抜き穴をあけた後、緩衝材と本体の保護フィルムを丁寧に剥がしてください。

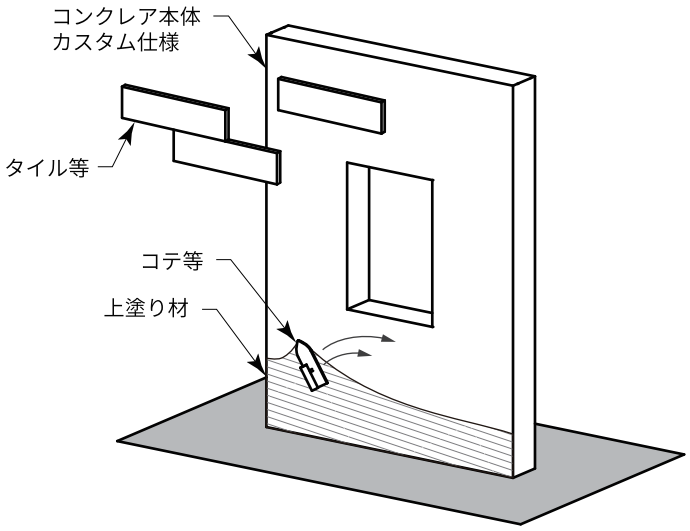
カスタム仕様の施工

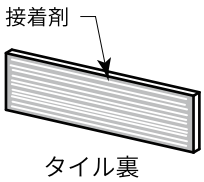
カスタム仕様の場合は本体を施工後、上塗り材やタイル等で表面を仕上げてください。

1 コンクレア本体にエアブロー (エアガン等) または乾式清掃（ブラシ・ウエス等）を行い、表面の粉塵・汚れを除去します。



2 お好みの上塗り材やタイルを施工し、本体表面を仕上げます。





接着剤は櫛引で塗ってください。点付けで接着すると、すき間に水が入った際、凍結するとタイルが割れる可能性があります。

⚠

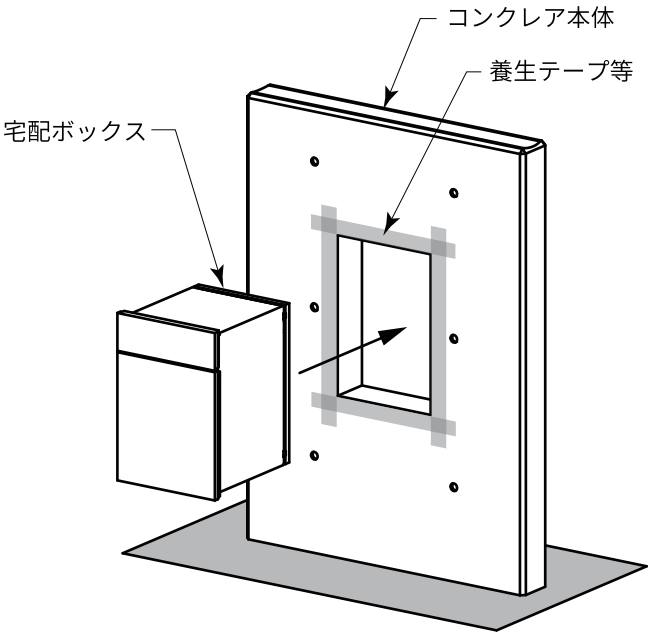
※アセトン・シンナーを用いた脱脂や洗浄、それらを含む接着剤や上塗材、塗料の使用は内部の発泡を溶かすおそれがあります。絶対に使用しないでください。

※タイル施工時推奨接着剤：セメダイン社　タイルエースF/タイルエースPro
全面に施工の場合、2kg入りで約5本必要となります。

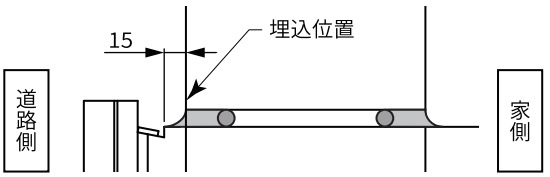
※表面硬度確保の為、本体全面に上塗材やタイル等を用いた施工を行うことを推奨します。

宅配ボックスの施工

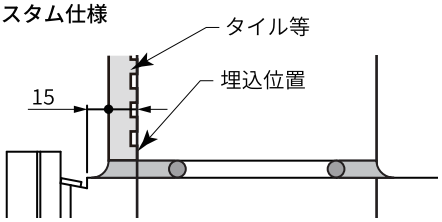
1　汚れ・キズ防止のため、図のようにコンクレア本体を養生し、宅配ボックスを挿入します。



■コンクリートグレー/ダーク

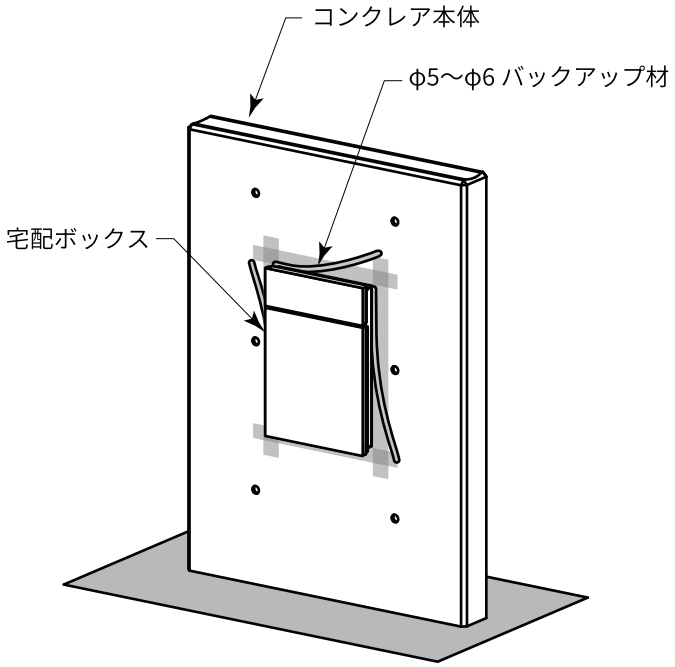


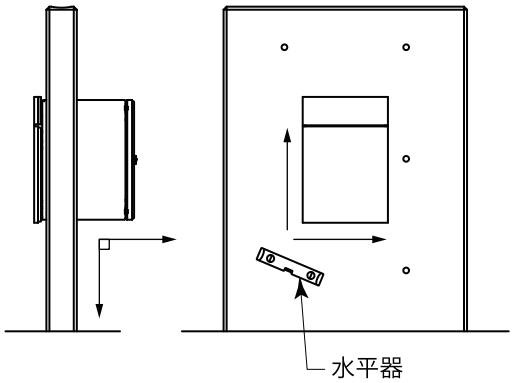
■カスタム仕様



タイル等仕上げの厚み分寸法を足して施工してください。

2　コンクレア本体と宅配ボックスの隙間にφ5 ～φ6 のバックアップ材を充填します。

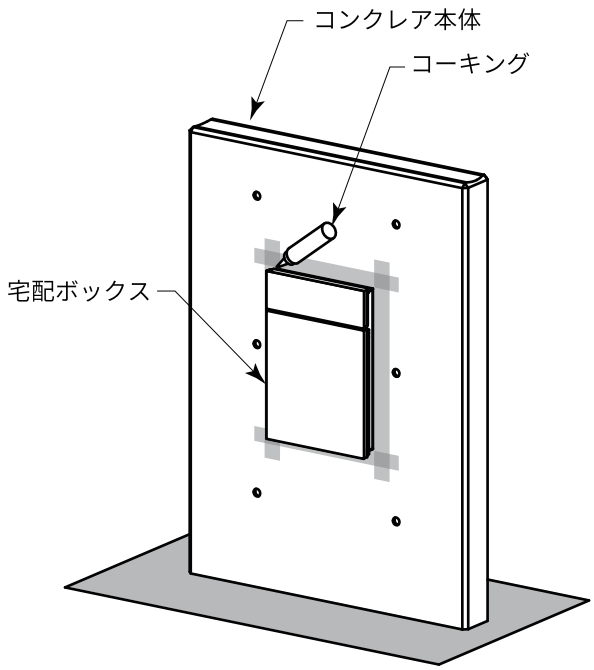


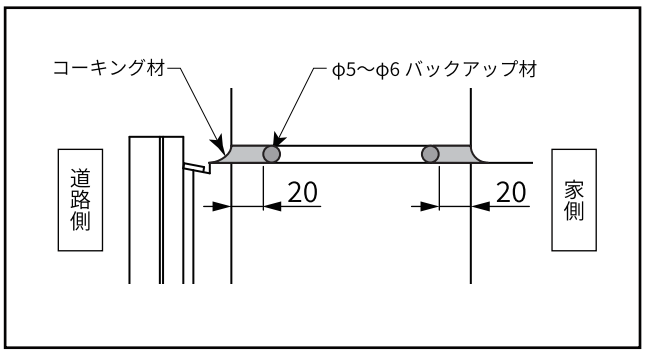


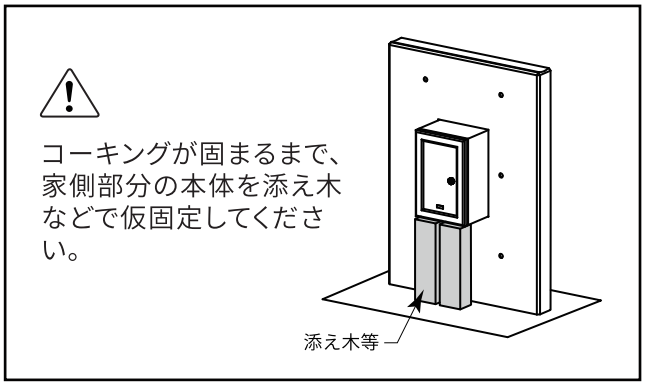
水平器等を当て、宅配ボックスが地面に対し水平になっているか確認してください。

宅配ボックスの施工

3 バックアップ材の上からコーキングを施し、隙間を塞ぎます。



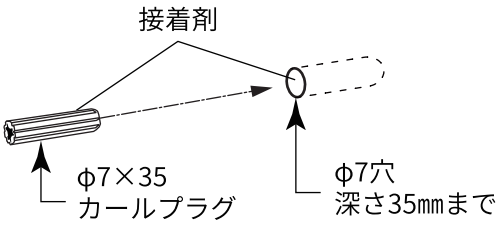




4 コーキングが完全に硬化した後、養生テープ等を丁寧に剥がしてください。

ウォールウォッシャーの取付

1 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
カールプラグの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



使用部材

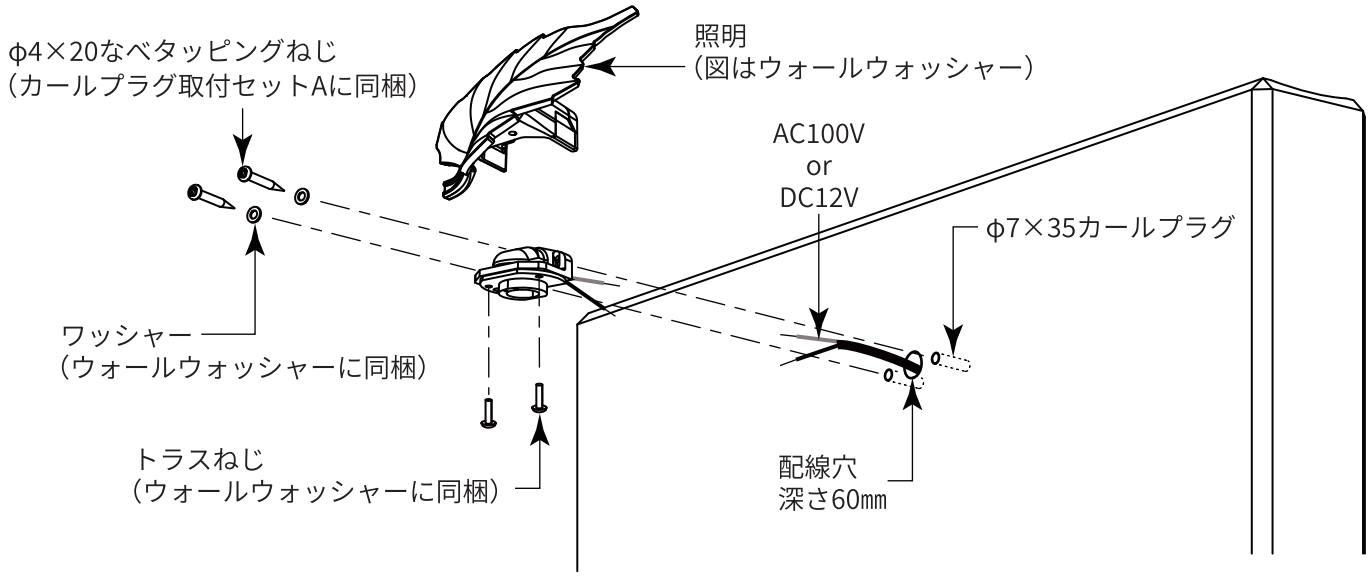
名称	数量
ウォールウォッシャー	1

＋

名称	数量
カールプラグ取付セットA（2個入）	1セット

別途ご準備いただく物	数量
2液性エポキシ接着剤（5～30分硬化型）	ー

2 上記1の接着剤が十分に硬化した後、照明を取り付けます。



⚠ 発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。

⚠

※カールプラグ取付セットA（別売）が必要となります。

※ウォールウォッシャーはAC100V、DC12Vのものがございますので、電源はそれぞれの器具に合ったものを正しく使用してください。

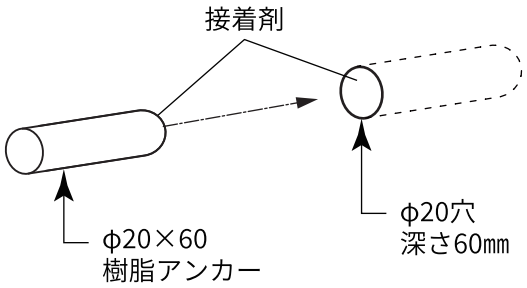
※AC100Vの電気配線に関わる工事は必ず有資格者が行ってください。

※P.3～4の条件・取付範囲内であれば、市販の照明も取付可能です。
ただし、取付ける際には木ねじ（長さは45㎜まで）を別途ご用意いただく必要があります。

※なべタッピングねじは必ず手回しで締めてください。
電動ドライバーでの取付けはトルクが強すぎるため共回りする可能性があります。
共回りしてしまった場合、一度カールプラグを抜き、再度接着剤を塗布して取り付けてください。
推奨接着剤：2液性のエポキシ接着剤　5分～30分硬化型

グラスランプの取付

1 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



使用部材

名称	数量
グラスランプ	1

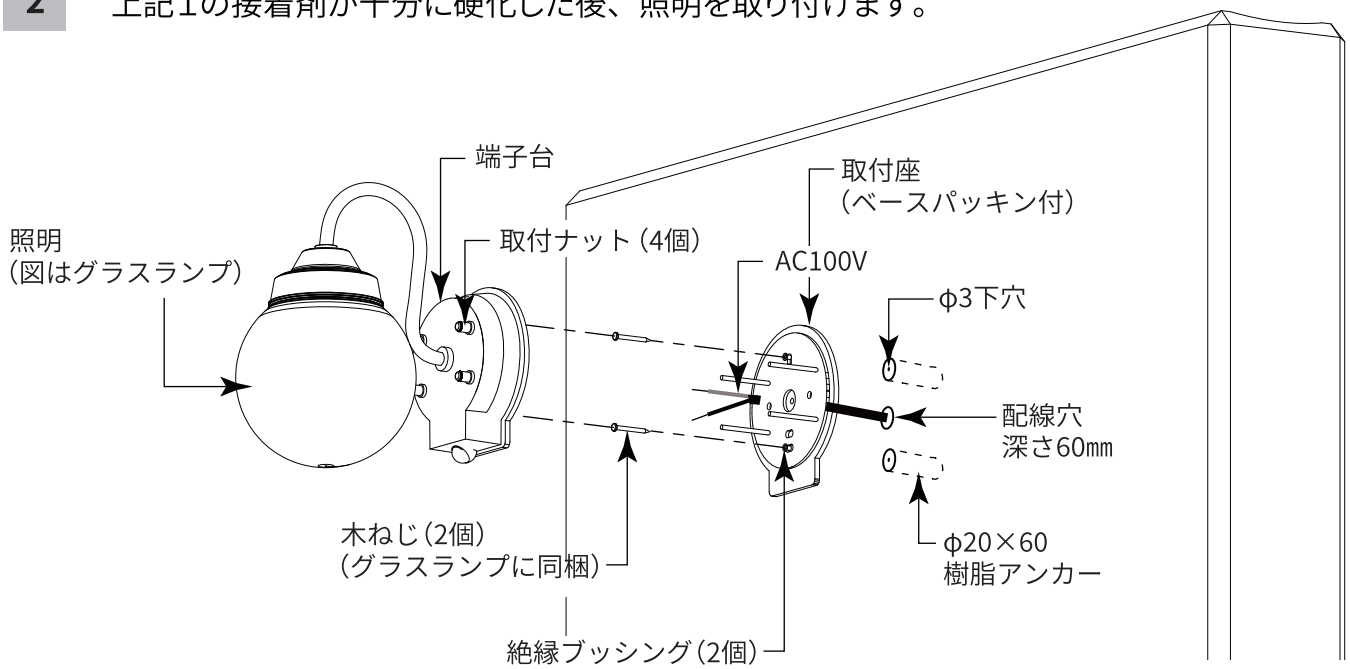
＋

名称	数量
樹脂アンカーセットA (2本入り)	1セット

別途ご準備いただく物	数量
2液性エポキシ接着剤 (5～30分硬化型)	―

※ベースポールの前に取り付ける場合は50㎜にカットし、深さ50㎜にて取り付けてください。

2 上記1の接着剤が十分に硬化した後、照明を取り付けます。



⚠ 発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。

⚠

※樹脂アンカーセットA（別売）が必要となります。

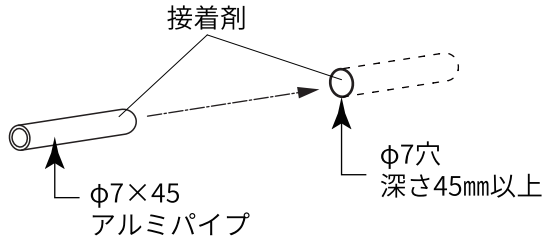
※AC100Vの電気配線に関わる工事は必ず有資格者が行ってください。

※P.3～4の条件・取付範囲内であれば、市販の照明も取付可能です。
ただし、取り付ける際には木ねじ（長さは45㎜まで）を別途ご用意いただく必要があります。

※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいた上で十分に乾燥させてください。
それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分のまま取付を行うと樹脂アンカーが共回りするおそれがあります。

表札の取付

1 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
アルミパイプの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



使用部材

名称	数量
表札本体	1

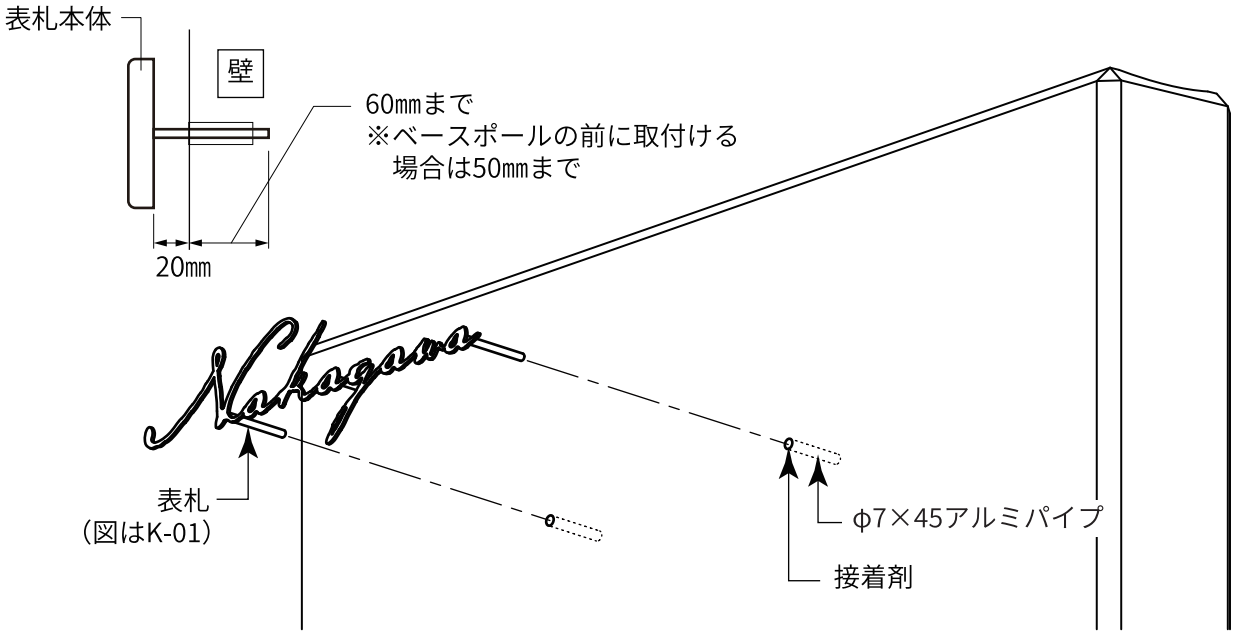
＋

名称	数量
パイプセットA (4個入)	1セット

※ 取付ける表札によっては、部品が余ります。

別途ご準備いただく物	数量
2液性エポキシ接着剤 (5～30分硬化型)	―

2 上記1の接着剤が十分に硬化した後、アルミパイプの中に接着剤を充填し、
表札の足を挿入して取り付けます。



⚠ 発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。

⚠

※表札を取付ける際には、パイプセットA（別売）が必要となります。

※P.3～4の条件・取付範囲内であれば市販の表札も取付可能です。

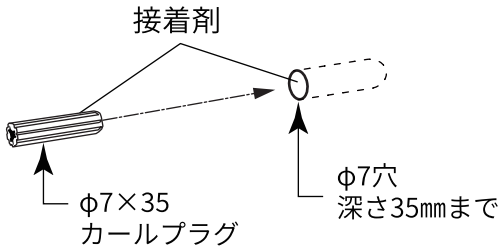
※接着剤を穴に注入する際は汚れ防止のため表札同梱のパッチを使用してください。

※はみ出した接着剤は早めに拭き取ってください。

※表札を取り付けた後は接着剤が固まるまで動かないようにテープ等で固定してください。

インターホンの取付

1 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
カールプラグの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



使用部材

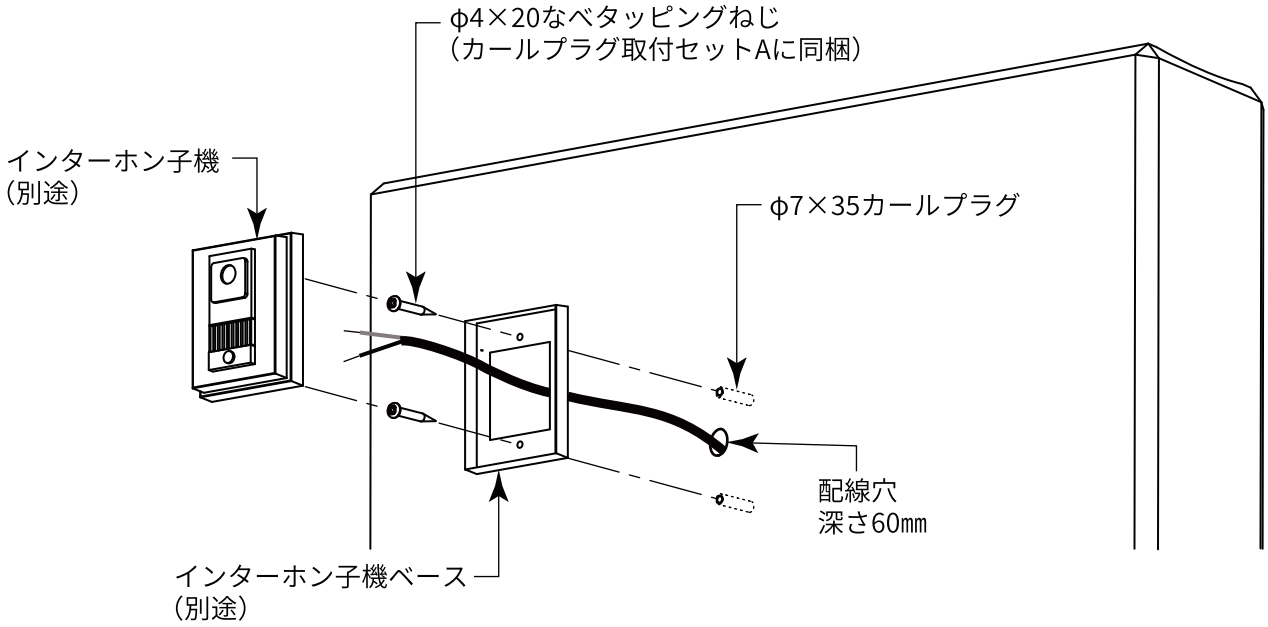
名称	数量
インターホン (市販)	1

＋

名称	数量
カールプラグ取付セットA (2個入)	1セット

別途ご準備いただく物	数量
2液性エポキシ接着剤 (5～30分硬化型)	―

2 上記1の接着剤が十分に硬化した後、インターホンを取り付けます。



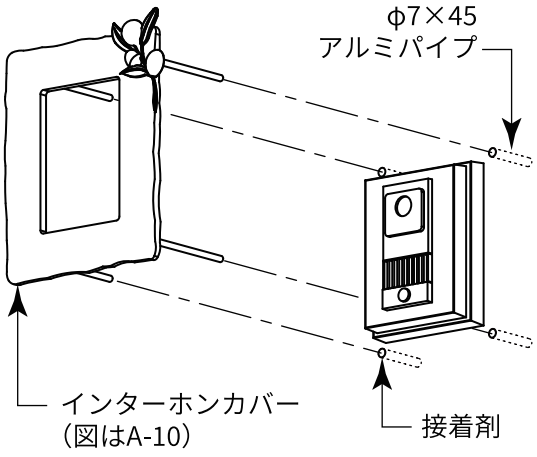
⚠ 発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。

⚠

※カールプラグ取付セットA（別売）が必要となります。

※なべタッピングねじは必ず手回しで締めてください。
電動ドライバーでの取付けはトルクが強すぎるため共回りする可能性があります。
共回りしてしまった場合、一度カールプラグを抜き、再度接着剤を塗布して取り付けてください。
推奨接着剤：2液性のエポキシ接着剤　5分～30分硬化型

インターホンカバー（A-10・A-11/C-13・C-14）の取付



使用部材

名称	数量
インターホンカバー （A-10・A-11 / C-13・C-14）	1

＋

名称	数量
パイプセットA (4個入)	1セット

別途ご準備いただく物	数量
2液性エポキシ接着剤 (5～30分硬化型)	ー

⚠ **発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。**

⚠

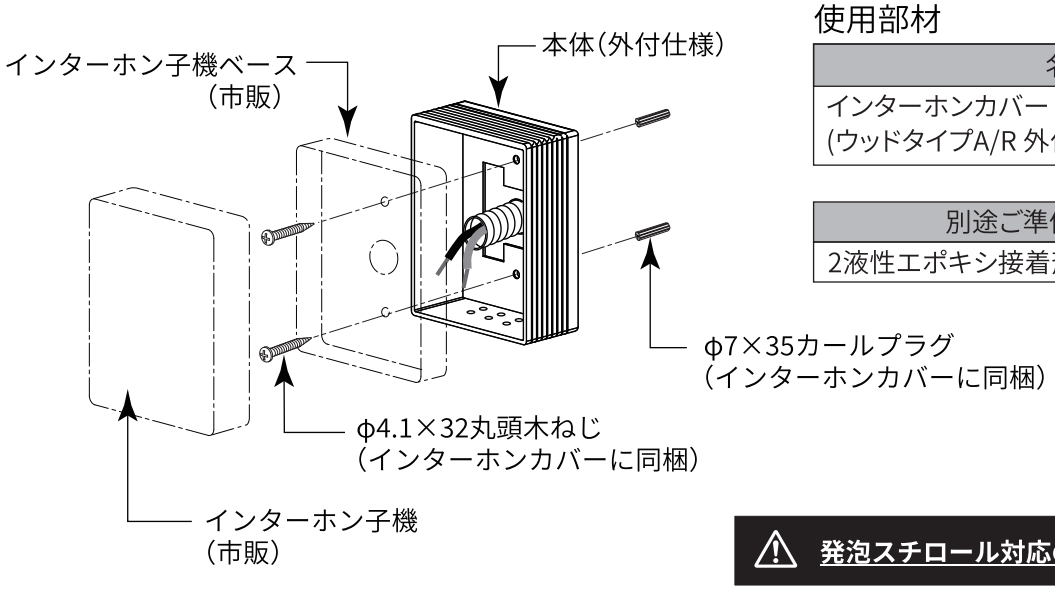
※パイプセットA（別売）が必要となります。

※接着剤を穴に注入する際は汚れ防止のため穴の周りを養生してください。

※はみ出した接着剤は早めに拭き取ってください。

※取り付けた後は接着剤が固まるまで動かないようにテープ等で固定してください。

インターホンカバー（ウッドタイプA/R　外付仕様）の取付



使用部材

名称	数量
インターホンカバー (ウッドタイプA/R 外付仕様)	1

＋

別途ご準備いただく物	数量
2液性エポキシ接着剤 (5～30分硬化型)	ー

⚠ **発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。**

⚠

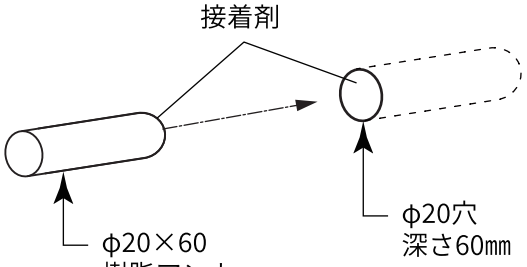
※上図以外の詳しい取付工程につきましては、インターホンカバー (ウッドタイプA/R 外付仕様)
に同梱の取付説明書をご参照ください。

※丸頭木ねじは必ず手回しで締めてください。
電動ドライバーでの取付けはトルクが強すぎるため共回りする可能性があります。
共回りしてしまった場合、一度カールプラグを抜き、再度接着剤を塗布して取り付けてください。

ガーデンアイテムの取付

(ツールハンガー/ウォールシェルフ/プランターホルダー/プランターバスケット/フラワーハンガー/ツールハンガー/ミニフック)

1 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



※ベースポールの前に取付ける場合は50㎜にカットし、深さ50㎜にて取り付けてください。

使用部材

名称	数量
ガーデンアイテム	1

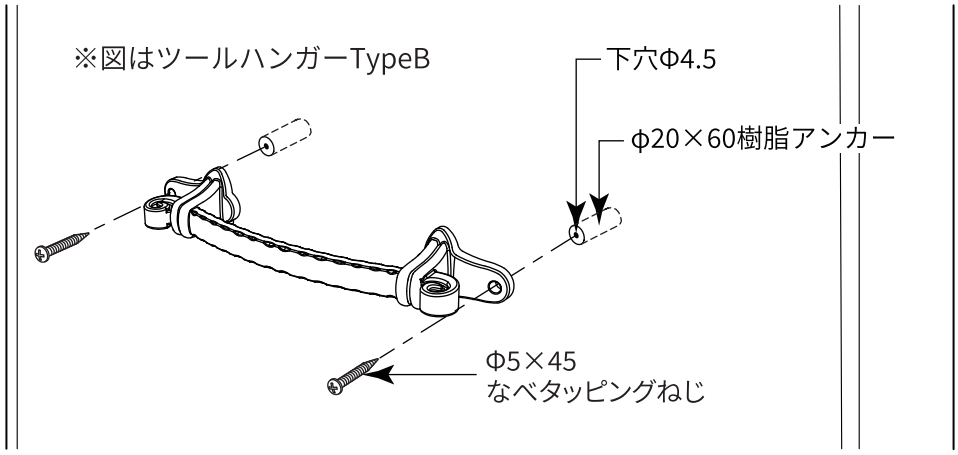
＋

名称	数量
タッピングビス取付セットA (3本入り)	ー
樹脂アンカーセットA (2本入り)　※	ー

※取付アイテムに合わせた数量をご準備ください。

別途ご準備いただく物	数量
2液性エポキシ接着剤 (5〜30分硬化型)	ー

2 上記1の接着剤が十分に硬化した後、取付けた樹脂アンカーにΦ4.3 の下穴をあけて
Φ5 タッピングねじでツールハンガーを取り付けます。



⚠ 発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。

⚠

※タッピングビス取付セットAと樹脂アンカーセット(別売)が必要となります。
必要数は取付けるアイテムによって変動します。P.7よりご確認ください。

※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいた上で十分に乾燥させてください。
それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分のまま取付を行うと樹脂アンカーが共回りするおそれがあります。

サイドフェンスの取付

1

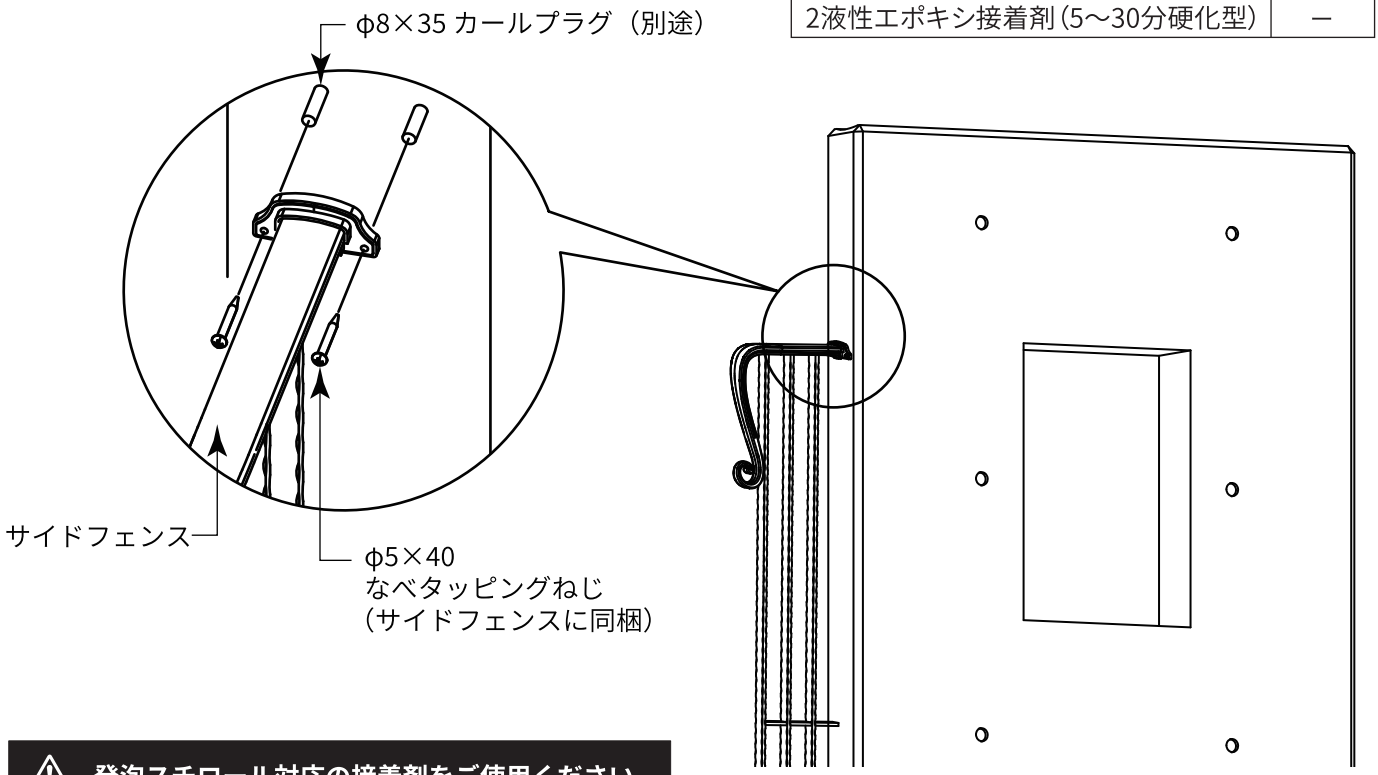
取付位置に穴を開け接着剤を充填し、
カールプラグを取り付けます。
接着剤が十分に硬化した後、
サイドフェンスを取り付けます。

使用部材

名称	数量
サイドフェンス	1

＋

別途ご準備いただく物	数量
φ8×35カールプラグ	2
2液性エポキシ接着剤（5～30分硬化型）	ー



⚠ **発泡スチロール対応の接着剤をご使用ください。**

⚠

※別途φ8×35カールプラグ2本が必要となります。

※サイドフェンスの足は、取付説明書に従って確実に基礎で固定してください。
基礎固定が不十分だとフェンスがぐらついたり倒れる場合があります。

※なべタッピングねじは必ず手回しで締めてください。
電動ドライバーでの取付けはトルクが強すぎるため共回りする可能性があります。
共回りしてしまった場合、一度カールプラグを抜き、再度接着剤を塗布して取り付けてください。
推奨接着剤：2液性のエポキシ接着剤　5分～30分硬化型

工事店様へ

◆改造、変更はしないでください。
◆取付け終了後、製品が確実に固定されていることをご確認ください。

Dea's Garden ディーズガーデン
〒601-8317　京都市南区吉祥院新田弐ノ段町45
TEL 075-681-2891　FAX 075-662-1190
株式会社　傳來工房

DPS-IM2
2026.10A